2022年度　事業報告書

2022年10月1日から2023年9月30日まで
特定非営利活動法人　グリーンネックレス

1　事業の成果

NPO法人グリーンネックレスは、JR中央線沿線各市（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市、立川市）の大学、NPO、行政等と連携し、中央線沿線の環境共生型まちづくりを推進してきました。今年度は、はけの学校や事務所を活用した「アップサイクルラボ」、民有緑地・農地の活用保全活動の他、地に足の着いたグリーンネックレスの活動を展開継続しました。実施した事業は以下の通りです。

（1）　ハケ(国分寺崖線)のまちづくり協議支援

はけの学校として、国分寺市域における野川再生整備に向けた1万人署名に協力し、2022年2月に東京都議会において、陳情が趣旨採択され、この結果を受け、東京都及び国分寺市への働きかけなどを進めています。その一環として、「野川最上部の整備計画を1000日で実現する会」に参加、運営委員会のメンバーとして、まちづくり協議の支援を行っています。

（2）　グリーンネックレス活動のアーカイブ化の取組み

これまで設計・建築に携わってきた、環境配慮型建築がどのようなものなのか、実績を整理しました。

（3）　民有緑地の活用・保全に資する農あるまちづくりの展開

屋敷林を有する農地の保全・活用に向けて、小金井市の緑地における相談対応、小金井市環境市民会議において緑地保全部会の立ち上げを行いました。

（4）　地域の様々な人材・組織と連携し、居場所をベースとした環境まちづくり活動の展開

昨年度、ACTコミュニティ活動応援基金助成を受けてスタートした、5丁目かいわいアップサイクルラボ活動を手仕事でとてとと協力し継続するとともに、地域の方と寄り合う「5丁目界隈歌の会」、オープンダイアローグの試みを参考とした「まちのよろずダイアローグ」などを実施しました。

①地域まちづくり情報収集・提供・発信事業

(NPO)グリーンネックレスのホームページを活用し、（NPO）の活動発信を進めました。

①-1. WEB発信事業

当法人の各事業・プロジェクト活動を広く周知していくために、ホームページを通じた情報発信を行いました。

①-2. エコメッセ等の連携

エコメッセ、小金井・ワーカーズ　まちの縁がわ「わ・おん」改装をきっかけとして、これらの施設を活用した地域情報発信・環境啓発活動への協力を行っています。

①-3. コミュニティアーキテクト事業のアーカイブ化

雨デモ風デモハウスなど、コミュニティアーキテクト事業の成果を整理した

①-4.小金井市環境市民会議への支援

・コロナ禍における環境市民会議のオンライン会議実施支援を行った。
・小金井市環境市民会議の運営支援（役員派遣）
・緑地保全部会の立ち上げ

②　地域の環境に根差した生活・文化・コミュニティの場づくり事業

②-1. ハケの学校

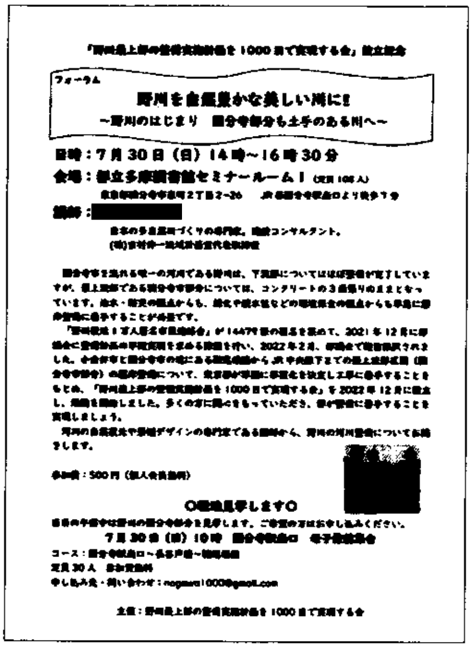
2022年度-2023年度は、国分寺市域における野川再生整備の機運の高まりを受け、「野川復活1万人署名市民連絡会」を発展させ、「野川最上部の整備実施計画を1000日で実現する会」（以

下、「野川再生千日の会」と略す）設立に向けた活動を行い、7月30日の「野川再生千日の会」が設立され、意識啓発活動を中心に、国分寺市域野川再生活動に取り組むとともに、三鷹市のみたかの地域史研究会に参加し、ハケと野川を巡る地域史の研究活動を進めることとなりました。

(1)　「野川最上部の整備実施計画を 1000 日で実現する会」設立記念イベント(2023.7.30)の実施協力と参加

約70名が参加して、「野川最上部の整備実施計画を 1000 日で実現する会」設立記念イベントが実施されました。

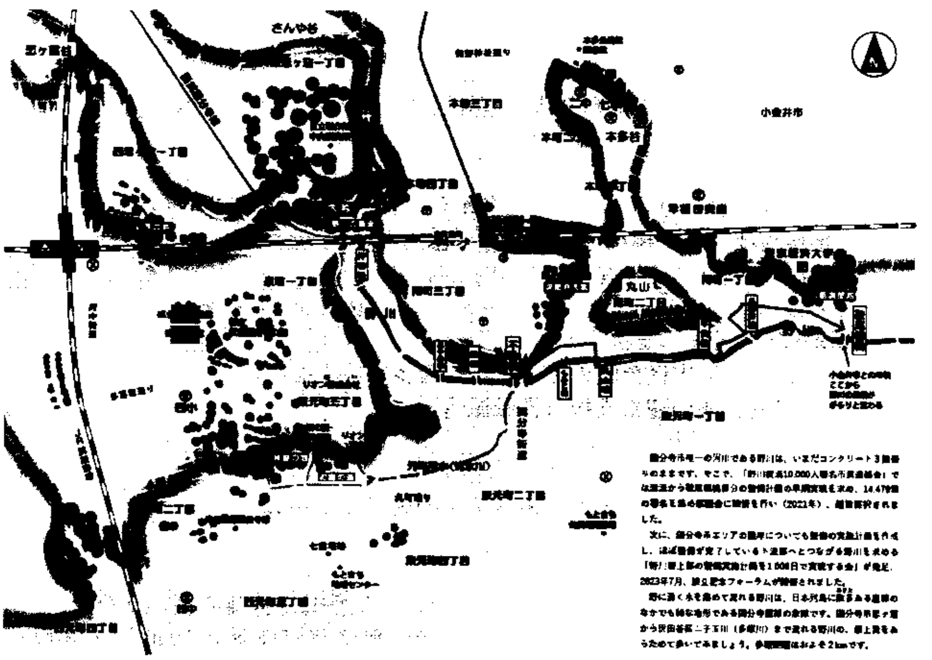
このイベント実施に向けた協力を行うとともに、設立後の事業内容について、協議を行いました。(2022年11月19日からほぼ毎月)


フォーラム
日時：7月30日（日）14時～16時30分
講師：[redacted]
参加費：500円

(2)　「野川最上部の整備計画を 1000 日で実現する会」運営委員会への参加と活動協力
(2023.08～2023.09)

はけの学校が提案し、「野川復活１万人署名市民連絡会」において協議・検討してきた、野川の絵地図づくりを柱とする「野川再生千日の会」の提案に対して、生活クラブまち国分寺のまちづくり活動助成実施が2023年7月に決定しました。

これを受けて、8月30日に協議を行い、第１ステップとして、野川の現状を示す野川源流マップをつくって、歩きながら気づいたことを書き込んでいく。第２ステップとして、親水性のある川のウォッチングをして、「こんなものがあるといいね」を収集することが決まり、ぶんぶんウォークなどで順次活動を進めていくことなりました。（下記、作成した野川源流マップ）



(3) みたかの地域史研究会への参加と発表

三鷹市の地域の歴史や民俗、文化を各自で調べる研究会である、みたかの地域史研究会に参加し、野川沿線での地域史を市民活動や緑地保全活動、文化活動、河川の基盤整備などを軸に整理した資料を発表しました。今後、野川沿線について、下記のような地域史の研究にも取り組む予定です。

1960年以降の野川流域整備の全体像のふり返り　～小金井市における緑地保全・環境保護活動との関連から～　　2022.11.19 (NPO)グリーンネックレス

	野川改修（河川河道変更、拡幅、護岸整備など）	関連する自治体の動き、小金井市内の野川沿いの市民活動	関連法制度、事業、背景など	補足的説明
1960(昭和35年)				
1960年	野川沿岸各市町村が野川改修期成同盟結成 野川下流部域（大田区）から河川改修工事が開始		水田等の低湿地帯であった野川沿線域で宅地化が急速な進展し、「雨が降ったらおちおち寝ていられない」ほど、野川が氾濫するようになった 加えて、野川には生活雑排水が流れ込み、どぶ川と化す	野川の名前の由来は、国分寺、小金井付近より発する野水（のみず）を集めて流れた川であるためと言われるが、市街化に伴い、その[illegible]的な機能が目立つようになった
1966年			昭和41年台風第4号の大規模水害発生	水害対策として下流部から河道変更・拡幅、護岸改修開始
1969年	昭和40年ごろの野川		小金井市における下水道整備開始	
1970(昭和45年)				
1970年	この頃、小金井市域の野川改修がスタート（？）		小金井市内の最後の水田が消滅（武蔵野公園へ）	下水道整備とともに、野川沿線の水田、ゴルフ場などの買取り、公園・緑地整備が進み始める
1973年			都市緑地法の制定	
1975年		第1回わんぱく夏祭り（武蔵野公園と野川を舞台に） 「ある小学生が、当時どうしようもなく汚かった野川で(中略)、『釣りをしたい』といったことから、わんぱく夏祭りが生まれた（わんぱく夏まつり20周年記念誌より）」		
1976年		[illegible]の保全を押し進める会設立	新小金井街道整備と沿道マンション開発による緑地喪失を防ぐため地権者などと連携し立ち上げ	美濃部都政の時代で、都知事などの協議も行われた(当時の市民からのHRより)
1977年			[illegible]を特別緑地保全地区に指定	国分寺崖線での第一号指定
1980(昭和55年)				
1980年		第6回わんぱく夏祭り（野川改修問題提起）		コンクリート三面貼りの野川護岸改修、調節池整備の工事計画について、市民側から多自然工法への転換の要望が出て、様々なチャンネルで働きかけが行われるが、一部コンクリート護岸整備がされる
1982年		地域雑誌「こんにちは小金井」スタート	その後の様々な環境啓発・保全活動へと展開	
1986年		第12回わんぱく夏祭り（第二調節池問題提起）	下水道整備の進捗に伴い、野川の水質改善が目に見えてきて、コイが戻ってくる	
1988年	[illegible] わんぱく夏祭りパンフ	第14回わんぱく夏祭り　野川第二調節池整備と護岸整備に関して、問題提起が続き、都との関係も[illegible]		
1989年	野川第二調節池完成			
1990(平成2年)				
1991年		野川第二調節池に平成4年度予算つかず、問題が事実上解消		
1997年			平成9年度河川法改正、目的に「河川環境の整備と保全」を加え、地域の意見を聴いて河川整備計画を策定へ	河川側が、河川の持つ多様な自然環境や水辺空間に対する国民の要請の高まりに応えるための施策を打ち出すことになる
2000(平成12年)				
2000年		沿線自治体、住民の参加する野川流域連絡会設立		
2004年	野川護岸整備の完了（[illegible]）			
2010(平成22年)				
2017年	多摩川水系野川流域河川整備計画（東京都）			時間最大65mm規模調節池整備に注力（平成29年度に、野川大沢調節池拡幅着手、上流部は100mm対応の整備も）
2020(令和2年)				
2021年		野川復活1万人署名、都議会請願 趣旨採択		

②-2. 民有緑地の活用と保全活動：まちかどプロジェクトー「明日につなぐ風景」

・小金井市梶野町の民有緑地における保全箇所の相談対応を行いました。

・小金井市環境市民会議において緑地保全活用部会の立ち上げを行いました。

③ 環境共生型まちづくりに関する調査・研究・提言

③-1. 事務所を活用した、アップサイクルプログラムの展開を検討、ACT コミュニティ活動応援基金助成に継続チャレンジすることとなりました。

③-2. 小金井市環境配慮住宅型研修施設のあり方への助言

小金井市環境配慮住宅型研修施設のあり方について意見提出・助言を行いました。

④ 環境共生型まちづくりに関する教育・普及・相談

「野川最上部の整備計画を 1000 日で実現する会」を通じて、環境共生型まちづくりに関する相談への対応を実施しました他、後述する「アップサイクル・オープンデイ」においての繕い相談などを行いました。

⑤ 環境共生型まちづくりに関する企画提案及び実践

「野川再生千日の会」への運営参加を通じて、国分寺市内野川の再生プラン検討の進め方について、提案と、関係者との協議を実施しました。

⑥環境共生型まちづくりに関する技術開発、機材開発

実施せず。企画検討を行った。

⑥ 環境共生型まちづくりとしての運営・監理事業の担い手事業

ACT コミュニティ活動応援基金助成採択された『社会と交わる手仕事居場所づくり』の成果を活用し、居場所づくり事業を発展的に継続展開しました。具体的には、毎週土曜日の「アップサイクル・オープンデイ」(2022 年 11 月 12 日開始)、毎週火曜日の「5 丁目界隈歌の会」(2023 年 8 月 18 日開始)、不定期開催「まちのオープンダイアローグ」(2023 年 4 月 26 日開始)です。その結果、2023 年 10 月から ACT 助成基金助成の継続につなげることができました。

(1) 毎週土曜日の「アップサイクル・オープンデイ」

毎週土曜日午後 1 時～3 時まで、誰でも立ち寄り、アップサイクルの相談や繕いができる活動を行いました。20 代の男性が将棋盤の下に敷くマットを作ったり、50 代の女性が手仕事てとてとに置いてある生地を使い、パンツを制作するなど、月に 1 回程度のアップサイクル活動と、週 1、2 人の繕いの相談がありました。

場所：(NPO)グリーンネックレス事務所



写真 ｱｯﾌﾟｻｲｸﾙ・ｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｲでのパンツ制作の様子
(

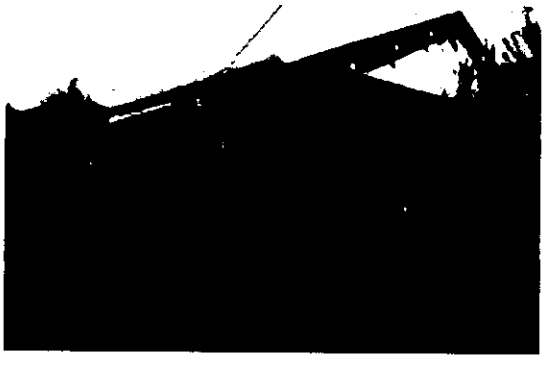
(2) 出張繕いラボの実施

東小金井駅近くにあるコミュニティスペース「かなエルハウス」において、トイレ床をモザイクタイルで修復する出張繕いラボを実施しました。(2023 年 7 月 2 日)



写真左 トイレ床にモザイクタイルを貼る準備作業の様子

写真下 かなエルハウス



(3) 「5 丁目界隈歌の会」の実施

地域での交流と健康づくりのために、歌を歌うだけでなく、声の出し方や発声の体全体を使って笑いあいながら歌うことで、コミュニティのつながりを育む取組み「5 丁目界隈歌の会」を始まました。(2023 年 8 月 18 日)、毎週第 2 火曜日に継続実施することとなりました。毎回 10 人程度が参加、徐々に参加者数が増えつつあります。

(4) 「まちのよろずダイアローグ」の実施

「まちのよろずダイアローグ」は、精神医療のオープンダイアローグの手法から学び、新しい寄り合いの場づくり目指し、〈ウィズネス思考〉[～と一緒に考えること]を基本に、話題提供者を迎え、対話を行うものです。

ゼロ回(試行)では、「寄り合い所 オープン ダイアローグ」として、寄り合いの場をどうやって維持していくかをテーマに、[redacted]を話題提供者として迎え、参加者 6 名で実施し、寄りあい処を維持する際に、課題と可能性を共有することができました。

これを受け、2023 月 11 月から話題提供を迎え、「まちのよろずダイアローグ」を実施することとなりました。

表　オープンダイアローグの 7 原則

原語	一般的な訳	意味
1. Immediate help	即時対応	必要に応じてただちに対応する
2. A social networks perspective	社会的ネットワークの視点を持つ	クライアント、家族、つながりのある人々を皆、治療ミーティングに招く
3. Flexibility and mobility	柔軟性と機動性	その時々のニーズに合わせて、どこででも、何にでも、柔軟に対応する
4. Team's responsibility	責任を持つこと	治療チームは必要な支援全体に責任を持って関わる
5. Psychological continuity	心理的連続性	クライアントをよく知っている同じ治療チームが、最初からずっと続けて対応する
6. Tolerance of uncertainty	不確実性に耐える	答えのない不確かな状況に耐える
7. Dialogism	対話主義	対話を続けることを目的とし、多様な声に耳を傾け続ける

(5)手仕事てとてとの実施するアップサイクルプログラムへの協力

・金接ぎ
・裂き織
・不要な着物地の再生
・ゆたかフェアー
・着物フェアー
・しめ縄づくり

⑧環境共生型建築に関する設計・監理・施工事業

⑧-1. 小金井市環境配慮住宅型研修施設（雨デモ風デモハウス）のメンテナンスアドバイス

小金井市環境市民会議へ、メンテナンス方法と試算を参考提示した。

⑨他団体との連携事業

昨年度に引き続き、小金井市環境市民会議、(NPO)エコメッセ、など、様々な NPO との連携を深め、地域を超えた協働プロジェクトを模索した。

2　活動報告

(1) 理事会活動

不定期に理事会を開催、事務局運営、事業活動の企画検討を行った。

(2) 受託業務

無し

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名／分野	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
①地域のまちづくり情報の収集・提供・発信	①　-1　ホームページの作成・更新	通　年	インターネットホームページ等	1名	一般に公開	
	①　-2　エコメッセ等との連携	通年	GN事務所 隣接建物等	3名	小金井市民	
	①　-3.グリーンネックレス活動のアーカイブ化と活動環境の整理	通年	GN事務所	1名	全国	
	①　-4.小金井市環境市民会議への支援	毎月末11回 （8月を除く）	小金井市もえぎホール 小金井市環境配慮住宅型研修施設	1名	小金井市民	
②地域の環境に根差した生活・文化・コミュニティの場づくり	②-1ハケの学校 ■「野川最上部の整備実施計画を 1000 日で実現する会」設立記念イベント(2023.7.30)の実施協力と参加 ■「野川最上部の整備計画を1000 日で実現する会」運営委員会への参加と活動協力 ■はけの学校成果発表（みたか地域史研究会）	2022年 11月19日 2023年 6月16日 7月6日 7月30日 8月21日 8月30日 9月19日 2022年 11月29日	GN事務所 国分寺生活者ネットワーク事務所 国分寺生活者ネットワーク事務所 都立多摩図書館セミナールーム 国分寺生活者ネットワーク事務所 国分寺生活者ネットワーク事務所 GN事務所 国分寺生活者ネットワーク事務所 三鷹市教育センター	3名	国分寺市民お及び企業市民・学生	
	③　-2.　民有緑地の活用と保　全活動 ・小金井市梶野町の民有緑地における保全箇所の相談対応 ・小金井市環境市民会議における緑地保全活用部会の立ち上げ	（毎月） （2月~4月） （4~8月） （4月） （5月） （7~9月）	・小金井市緑地	10名	民有緑地周辺住民及びの民有緑地保全活用関心者	
③環境共生型まちづくりに関する調査・研究・提言	④　-1.　事務所を活用した、アップサイクルプログラムの展開の検討	通年（月1回）	小金井市本町5丁目かいわい	3名	小金井市民	

	⑤ -2. 小金井市環境配慮住宅型研修施設のあり方への助言		小金井市	3名	小金井市民	
④環境共生型まちづくりに関する教育・普及・相談	⑥ 環境共生型まちづくりに関する教育・普及・相談 ・「野川最上部の整備計画を1000 日で実現する会」を通じたまちづくり相談 ・「アップサイクル・オープンデイ」における繕い相談	通年（ほぼ毎月） 通年（ほぼ毎週土曜日）	GN事務所他	5名	小金井市環境市民会議	
⑤環境共生型まちづくりに関する企画提案及び実践	⑦ .環境共生型まちづくりに関する企画提案及び実践の参加・協力 （②-1 再掲）	2022年10月～2023年9月	GN事務所他	3名	国分寺・小金井市民	
⑥環境共生型まちづくりに関する企画提案及び実践	⑦ .環境配慮に係る各種技術の企画検討を進めた。	通年	全国	1名	建築関係者	
⑦環境共生型まちづくりの担い手としての運営・管理等の活動	⑦-1.『社会と交わる手仕事居場所づくり』 ■「アップサイクル・オープンデイ」の実施 毎週土曜日、気軽に繕いものなどを相談できるオープンデイを実施、2名が対応。 ■出張繕いラボの実施 「トイレ床ﾍﾘｯﾎﾟｲｸﾀｲﾙ貼り」 ■「5丁目界隈歌の会」の実施 ■寄り合い所オープンダイアローグの実施 ■手仕事てとてとの実施するアップサイクルプログラムへの協力 ・金接ぎ ・裂き織 ・不要な着物地の再生 ・ゆたかフェアー ・着物フェアー ・しめ縄づくり	2022年 11月12日より ~~毎週土曜日~~ （2022年12月～2023年1月14日、2023年8月は休み） 2023年7月2日 2023年8月18日 9月27日 2023年4月26日 通年（月2回程度）	GN事務所 かなエル・ハウス GN事務所 GN事務所 GN事務所 GN事務所他	3名	小金井市民他	

⑧環境共生型建築に関する設計監理施工	⑧ -1. 小金井市環境配慮住宅型研修施設（雨デモ風デモハウス）のメンテナンス調査のフォロー	2022年10月～2022年9月	小金井市環境配慮住宅型研修施設	2名	小金井市民他	
⑨地域社会に貢献する各種まちづくり活動のネットワーク	⑨-1.他団体との連携事業 ●小金井市環境市民会議、などとのネットワークづくり	通年	小金井市 環境楽習館　他	2名	中央線三鷹立川間沿線市民等約80万人	
	⑨ -2.他団体との連携事業 小金井エコメッセ運営委員会への参加	通年	小金井市　他	3名	中央線三鷹立川間沿線市民等約80万人	
	⑩ -3.他団体への参加 小金井市環境市民会議、「野川最上部の整備計画を1000　日で実現する会」への団体参加	通年	小金井市他	5名	小金井市民（12万人）	
	⑪ -4.他NPOとの連携 国分寺ACTなど、他地域活動との連携。	通年	小金井市 国分寺市 三鷹市	6名	小金井市民他	

2022年度　活動計算書

2022年10月1日から2023年9月30日

特定非営利活動法人　グリーンネックレス

単位;円

科目	金額		
Ⅰ　経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費収入	6,000		
賛助会員会費収入	0	6,000	
2. 受取寄付金	0	0	
3. 受取助成金等	0	0	
4. 事業収益	0	0	
5. その他収入			
過年度損益修正・受取利息ほか	482	482	
経常収益計			6,482
Ⅱ　経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
外注委託費	0		
旅費交通費	0		
通信費	0		
地代家賃・水道光熱費	240,000		
消耗品費	0		
印刷費	0		
諸会費	0		
図書資料費・研修費	0		
支払手数料	0		
公租公課	0		
交際費	0		
広告宣伝費	0		
現場工具等	0		
その他経費計	240,000		
事業費計		240,000	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
旅費交通費	0		
通信費	8,448		
地代家賃・水道光熱費	60,000		
消耗品費	0		
印刷費	0		
諸会費	4,000		
支払手数料	0		
租税公課	0		
交際費	0		
会議費	0		
新聞図書費	0		
その他経費計	72,448		
管理費計		72,448	
経常費用計			312,448
税引前当期正味財産増減額			-305,966
法人税等			0
税引後当期正味財産増減額			-305,966
前期繰越正味財産額			1,831,232
次期繰越正味財産額			1,525,266

2022年度　事業別活動計算書

2022年10月1日～2023年9月30日

特定非営利活動法人　グリーンネックレス

単位：円

科目	定款5-(2)地域の環境に根差したコミュニティの場づくり・環境に配慮したまちづくりに関する調査・研究		定款5-(4)環境共生型まちづくりに関する教育・普及・相談	定款5-(7)環境共生型まちづくりとしての運営・監理事業の担い手事業	事業小計	管理部門	総合計
	①ハケの学校	②民有緑地の活用保全	環境共生型まちづくりに関する相談2件	社会と交わる手仕事居場所づくり			
Ⅰ　経常収益							
1. 受取会費							
正会員会費					0	6,000	6,000
賛助会員会費					0	0	0
2. 受取寄付金					0		0
3. 受取助成金等					0		0
4. 事業収益					0		0
5. その他収益							
受取利息・配当金・債務免除益					0	482	482
経常収益計(A)	0	0	0	0	0	6,482	6,482
Ⅱ　経常費用							
(1)人件費							0
役員報酬							0
給料手当					0		0
法定福利費					0		0
役員報酬					0		0
その他・謝金					0		0
人件費計(a)	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費							
外注委託費					0		0
旅費交通費					0		0
通信運搬費					0	8,448	8,448
地代家賃				240,000	240,000	60,000	300,000
水道光熱費					0		0
消耗品費					0		0
印刷費					0		0
諸会費					0	4,000	4,000
支払手数料					0		0
租税公課					0		0
会議費					0		0
交際費・寄付金					0		0
広告宣伝費					0		0
新聞図書費					0		0
現場工具等					0		0
支払利息					0		0
その他経費計(b)	0	0	0	240,000	240,000	72,448	312,448
経常費用計(B=a+b)	0	0	0	240,000	240,000	72,448	312,448
当期経常損益増減額(A-B)	0	0	0	-240,000	-240,000	-65,966	-305,966
法人税等					0	0	0
税引後当期損益増減	0	0	0	-240,000	-240,000	-65,966	-305,966

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2023年9月30日現在

特定非営利活動法人 グリーンネックレス

単位:円

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金	54,258		
普通預金	593,089		
短期貸付金	961,000		
流動資産合計		1,608,347	
2. 固定資産			
出資金	30,000		
固定資産合計		30,000	
資産合計			1,638,347
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払い(武蔵野から編集室)	0		
前受金	216,000		
流動負債合計		216,000	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			216,000
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,831,232	
当期正味財産増加額		-305,966	
正味財産合計			1,525,266
負債及び正味財産合計			1,741,266

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2023年9月30日現在

特定非営利活動法人 グリーンネックレス

単位:円

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金	54,258		
普通預金			
多摩信用金庫・小金井	593,089		
三菱東京UFJ	0		
短期貸付金 ㈱ﾊﾞｲｵﾍﾞｰｽ	961,000		
流動資産合計		1,608,347	
2. 固定資産			
出資金(多摩信)	30,000		
固定資産合計		30,000	
資産合計			1,638,347
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払い	0		
前受金	216,000		
流動負債合計		216,000	
負債合計			216,000
正味財産			1,422,347

2022年度　役員名簿　及び
名簿のうち前年において報酬を受けたことがある者の名簿

特定非営利活動法人　グリーンネックレス

２０２２年１０月１日から２０２３年９月３０日まで

役名	(フリガナ) 氏　　名	[redacted]	就任期間	報酬を受けた期　間
代表理事	ドイ ヒデオ 土肥 英生		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
代表理事	マエダ ユキノリ 前田　幸則		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	アダチ アキ 安達 亜紀		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	イケダ アツコ 池田 敦子		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	クロイワ アキヒコ 黒岩 哲彦		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	コタニ　トシヤ 小谷　俊哉		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	ヤマダ キヨシ 山田 清		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
理事	ヨコタ(ノグチ) ユキコ 横田(野口)由紀子		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし
監事	オガタ　ケイイチ 緒方　恵一		2022年10月1日 ～2023年9月30日	なし

以上

社員のうち10人以上の者の名簿

２０２３年９月３０日現在

特定非営利活動法人　グリーンネックレス

氏　　名	[redacted]
横田　由紀子 （通称：野口由紀子）	
小谷　俊哉	
池田　敦子	
山田　清	
黒岩　哲彦	
土肥　英生	
百瀬　和浩	
安達　亜紀	
前田　幸則	
緒方　恵一	
横田　右近	

以上